

編 集：日本災害復興学会学会誌編集委員会
発 行：日本災害復興学会
発行日：2026 年 9 月 11 日

【目次】

特集 1 「多重被災と復興」

災害研究および防災実践における多重災害の意味

ー 災間社会を前にして、防災を問い直すためにー

小林秀行（明治大学情報コミュニケーション学部 専任教授） 1

多重被災時代の被災者支援制度の再構築

ー 能登半島地震・奥能登豪雨を踏まえた人権回復と住宅復興政策ー

宇都彰浩（弁護士）

津久井進（弁護士） 8

能登半島地震・水害後の中長期的な健康問題

田中浩二（金沢大学医薬保健研究域保健学系・能登里山里海未来創造センター 教授）

..... 19

多重と反復

ー 能登の声から考えるー

高原耕平（金沢大学 能登里山里海未来創造センター 特任准教授） 24

多重被災と「笑い」

ー 水害常襲地の京都府福知山市の事例からー

大門大朗（福知山公立大学地域経営学部 准教授） 29

特集 2 「多義的なケアの視点から」

序：災害復興の再考

ー 多義的なケアの視点からー

土田亮（東京大学大学院総合文化研究科 特別研究員 PD）

大津山堅介（神戸大学都市安全研究センター 准教授）

高森順子（大阪大学大学院人間科学研究科 特任研究員）

辻本侑生（静岡大学地域創造教育センター 講師）

望月美希（静岡大学人文社会科学部 講師） 37

多スケールのケアとして、空間と時間の視点から考える

大津山堅介（神戸大学都市安全研究センター 准教授） 47

手記執筆の認知行動療法的ダイナミクス

ー 手記執筆を「存在確認のケア」として捉え直すー

高森順子（大阪大学大学院人間科学研究科 特任研究員） 52

日常の繰り返しのなかで現れる「危機とケア」 辻本侑生（静岡大学地域創造教育センター 講師）	56
--	----

ケアするように復興を書く ー復興に関わる経験を渦巻きながら誠実に書くことの倫理ー 土田亮（東京大学大学院総合文化研究科・日本学術振興会 特別研究員 PD）	60
---	----

活動のなかにあるケア ー東日本大震災後の長期的な被災者支援の現場からー 望月美希（静岡大学人文社会科学部 講師）	70
--	----

投稿論文

書評：山川充夫・高木亨・深谷直弘編著『福島復興学Ⅲ 原発被災地に住む・住み続けることの意味を問う』 栗田但馬（立命館大学経済学部 教授）	75
---	----

編集後記・学会誌編集委員会委員名簿